

■通常事業評価シート【R6年度実施事業／生涯学習部郷土文化課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	郷土資料等展示事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	市内外からの来場者に対して、岸和田の歴史と文化を広く知ってもらうため、郷土資料等を一定のテーマに従って展示し、解説する。	年4回の企画展を開催。また、市民センターやカンカン等で出前展示を開催した。	5：達成した	継続	7,489	7,852	15,341	展示だけでなく、資料調査など業務が多岐にわたり、担当の負担が年々増加している。	人員の増加	
2	郷土文化普及事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	郷土の歴史や文化財への市民の関心を深めるため、普及・啓発活動を行う。	文化財の情報発信のために文化財説明板の設置。さらに歴史講座の開催や小学校への出前授業を実施。	4：大いに近づいた	継続	3,842	3,703	7,545	郷土の歴史や文化財をより一層発信する必要がある。	周知だけでなく、学校教育との連携を図っていく。	
3	濱田青陵賞事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	市民がより高度な学術文化に接する機会を提供するため、濱田青陵賞事業を企画運営する。	朝日新聞社と共同で選考委員会を開催し、受賞者を決定、9月に授賞式と記念シンポジウムを開催した。また、授賞式と記念シンポジウムはYoutubeで動画配信している。	5：達成した	継続	2,586	3,632	6,218	改善はしているが、依然、事業の継続には課題がある。	事業を継続するために、推薦方法の電子化を行ったが、フォームにアクセスしづらいなど課題がある。また事務局の作業のマニュアル化を進める必要がある。	
4	岸和田市文化財保護 基金積立事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	文化財の保護、維持管理等に要する経費に当てるため、岸和田市文化財保護基金を適正に管理する。	文化財の保護・維持管理等に要する経費に充当するため、岸和田市文化財保護基金を適正に管理した。	5：達成した	継続	6,514	225	6,739	基金使用について担当課が全く関与できない。	基金の使用用途について財政課だけで決定するのではなく、今後は本課との協議の上。使用用途を決定してもらいたい。	
5	発掘調査・史跡整備 事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	埋蔵文化財の保存と活用を図るため、発掘調査を実施し、出土遺物等を整理する。	令和4年度より高石市との埋蔵文化財事務の広域化を実施し、埋蔵文化財の保存と活用を図った。	5：達成した	継続	5,260	5,331	10,591	埋蔵文化事務の今後も滞りなく進めていく必要がある。	人材の確保	
6	文化財保護事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	貴重な郷土の文化財を後世に残すため、市内に所在する様々な文化財を保存・保全し、活用する。	国指定名勝八陣の庭の保存活用、国指定文化財所有者への補助金交付、指定文化財敷地の樹木伐採、除草などを行った。	4：大いに近づいた	継続	1,159	5,157	6,316	指定文化財敷地の樹木伐採、除草は、必要最低限の部分しか対応できていない。根本的に樹勢を落とす必要がある。	伐採面積の拡大が必要。	
7	文化財保存支援事業	郷土の歴史や文化が引き 継がれている	貴重な文化財を後世に残すため、文化財の保存・保護活動を支援する。	文化財保存団体への活動支援を行った。	5：達成した	継続	931	2,397	3,328	文化財保存団体の構成員の減少、高齢化が進んでいる。	文化財保護の意義を発信し、若い世代へ継承していく必要がある。	
8	自然資料館管理事業	人が緑と触れあっている	自然資料館の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	自動ドア（外側）のモーター関連機器を寄付により更新 給水ポンプを緊急修繕	2：一定近づいた	継続	22,538	12,971	35,509	給水ポンプの修繕は、突発的なものであり、施設の老朽化に対応するための改修は今後必要となる。	切れ目のない計画的な改修を実施していくことで、来館者が安全・安心・快適に利用できるように施設の維持に努める。	
9	自然資料館普及・展 示事業	人が緑と触れあっている	郷土の自然の大切さを再認識し、保護・保全への市民の理解を深めるため、自然の資料や情報を広く市民の利用に供するとともに、普及・啓発活動を行う。	企画展・特別展4回、講演会5回、野外観察会16回、室内実習会48回、出展6回実施	5：達成した	継続	6,690	19,132	25,822	展示や行事、講師派遣などの利用状況はほぼコロナ前に戻っている。しかしながら、さらなる利用者増のためには、10年以上大きな変化がない常設展示室の更新が必要である。	オンラインも引き続き活用しつつ、普及・教育や展示等の事業充実を図る。また、常設展示室の改修に向けた具体的な内容や財源確保策の検討を進める。	
10	郷土文化課管理事務 事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課内を円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行った。	5：達成した	継続	1,650	11,119	12,769	今後も課内を円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う必要がある。	さらなる事務の効率化	
11	岸和田城天守閣耐震 対策検討事業（他課 への応援）	観光資源が活かされている	岸和田城を観光資源として保存していくため、今後のあり方について検討する	—		その他	-	-	-	-	-	進捗管理は、観光課が主管であるため。